学校番号	３２４

平成３１年度　芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2	年次	1
使用教科書	MOUSA①　　（教育芸術社出版）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「音楽史や楽譜を読むこと」を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技・筆記テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート 実技・筆記テスト	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！ ～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 「翼をください」 「ひまわりの約束」 「少年時代」 ほか	○	○	○		a：歌う喜びを味わい、歌うことに主体的・積極的に取り組もうとしている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	器楽を楽しもう	【器楽】 リコーダー 音階練習 「聖者の行進」 「サマー」	○		○		a：器楽に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c：リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	楽譜の基礎知識を養おう	【理論】 プリント	○				a：音名や音符・休符の基礎について知識を深め、読譜力を養う。	観察 ワークシート 筆記テスト

	鑑賞のファーストステップ ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 バロック～古典まで ・ビバルディ 「四季」 ・シューベルト 「魔王」	○			○	a：様々な時代の音楽鑑賞に親しみ、歴史や作曲家にも感心をもって鑑賞の知識を深める。 d：音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、その演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 筆記テスト
2学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 合唱曲 「マイバラード」	○	○	○		a：曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに親しもう	【器楽】 ギター 音階練習 「きらきら星」 「かっこう」	○	○			a：ギターのチューニングや名称・基礎的な奏法を学習し、演奏する学習に意欲的に取り組もうとしている。 b：旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	鑑賞のファーストステップ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 ・バッハ「フーガ」 ・ベートーベン 「運命」他	○			○	a:パイプオルガンの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:交響曲に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 筆記テスト
3学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 「シング」	○	○	○		a:英語の歌に興味をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	器楽	【器楽】 リコーダー 「オーラリー」	○	○			a:器楽に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜の記号や決まりを学習し、アルトリコーダーの奏法に慣れ親しむ。	観察 演奏の聴取
	鑑賞	【鑑賞】 「アイーダ」 「雅楽」	○			○ ○	a：総合芸術オペラの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリアとその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラや内容に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 d：我が国の伝統楽器の知識を深め、興味を持って鑑賞する。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。